

# ならっ子だより ~幻の大仏鉄道を歩いてみよう~

大仏鉄道は、明治時代の鉄道会社「関西鉄道」の加茂と奈良を結んだ約10キロの路線の愛称です。1898年（明治31年）加茂駅から大仏駅（奈良市法蓮町）の区間が開業し、大仏駅は東大寺の大仏詣での人々が多く利用したそうです。翌年、奈良駅まで路線が伸びましたが、黒髪山トンネルまでの急な坂などの難所があり、加茂駅から木津駅を経て奈良駅へ至る平坦なルート（現 JR 関西線）が開通すると、大仏鉄道は廃線になりました。営業期間はわずか9年。当時の資料はほとんど残っていないことから、「幻の鉄道」と呼ばれています。

今は路線跡に点在するトンネルや橋の遺構のみが当時の様子を伝えています。

## ◆パンフレット「幻の大仏鉄道 遺構めぐりマップ」



大仏鉄道を駆け抜けたという真っ赤な蒸気機関車「電光号」をイメージした表紙が目印です。市観光振興課、奈良市内の観光案内所などに設置しています。

また、ホームページでもダウンロードできます。

【問合せ】観光振興課（☎0742-34-5135）



●黒髪山トンネル跡  
昭和41年ごろまで残っていた、大仏鉄道唯一のトンネル。道路拡張で現在の姿に。



●鹿川隧道  
農業用水路の目的で造られた石組みのトンネル。現在も利用されています。



●大仏鉄道記念公園  
大仏駅の跡地に、市と地元自治会の協力で、平成4年に造られた公園です。



## 学校紹介 柳生小学校の巻

本校は、柳生一族で知られる剣聖の里・柳生地区にある小学校です。創立48年目を迎え、『いきいきわくわく元気な柳生っ子！』をモットーに、現在49人の児童が、元気に学校生活を送っています。本校の特色ある教育活動の一つに、約40年前から取り組んでいる「木剣体操」があります。授業でも剣道を取り入れ、厳冬期に行う全員参加の剣道大会は、柳生剣友会が指導する伝統行事です。

秋に地域ぐるみで開き、昨年101回目を迎えた柳生地区大運動会では、毎年この「木剣体操」を地域の人々に披露しています。

また、子どもたちは柳生家の菩提寺・芳徳禅寺を訪ねて新陰流について学んだり、十兵衛杉や一刀石の見学をするなどの柳生の里をめぐる地域学習や茶摘み、柳生焼などの体験学習を通じて地域の人々とながっています。

このような柳生小学校は、「地域の学校」ではなく、「地域が学校」と、胸をはって言えると考えています。



【問合せ】教育政策課 ☎0742-34-5386